


警告

- 取付けは取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 取付け前に必ずバッテリーのマイナス側のターミナルコードを外して、キーOFFである事を確認してください。
- LEDチップに触れたり汚さないでください。汚れの付着は熱溜まりによるLEDチップの焦げの原因となります。
- 本製品は精密機器ですので取扱いには充分ご注意ください。落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。誤った取扱いは故障の原因となったり、怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- LEDバルブの長さ調整を除き**本製品の分解・改造は絶対に行わないでください**。分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 点灯中のヘッドライト内のLED発光を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にレンズに水をかけないでください。急な温度変化でレンズやLEDバルブの破損の原因となります。また、LEDバルブ本体やヒートシンク、コントローラーユニットは高温になりますので触らないでください。

注意

- 本製品は、直流(DC)12v専用です。必ずDC12vを電源とした配線を厳守してください。
※小排気量車に多い交流(AC)点灯式ヘッドライト車両には対応致しませんので絶対に取付けしないでください。
- 本製品はオートバイ専用となっておりますので四輪自動車への使用はできません。
- プロジェクターのHiビーム側に装着する事も出来ますが、車両側のプロジェクターヘッドライトの構造により、最高光度が車検合格基準値を下回る場合があります。但し**光量はハロゲンバルブよりもルーメン値換算で約2倍**の明るさになります。
- 紙や布で覆ったり燃えやすい物の近くで点灯させないでください。火災や異常加熱を引き起こす恐れがあります。また、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないでください。
- 点灯した状態でのヘッドライトへの取付けは行わないでください。故障や火傷の原因となります。
- 本製品は完全防水ではありません。コントローラーユニットから出ている配線は下向きに取付け、カプラーは自己融着テープなどを巻いて防水対策をしてください。必要以上に水で濡らす事は避けてください。
- 高圧洗浄機による洗車を行う際は本製品に直接高圧洗浄が当たらないようにしてください。
- LEDバルブやコントローラーユニットを落としたり、強い衝撃を与えるなどしないでください。破損や性能の低下、寿命を縮めるだけではなく、ケガの原因にもなります。
- LEDバルブの組み付けには、この  **グリス** マークで示した箇所に必ず付属の導熱グリスを塗ってください。
- 防水電動ファンを覆い隠さないでください。ファン後方には吸い出した空気が流れる十分なスペースを確保してください。
- 防水電動ファンには取付け時の向きの指定があります。必ず丸シールの貼ってある側を外側に向けて取付けてください。
- ネジ部の緩み防止にネジロックをご使用ください。また定期的な増締めを行ってください。
- 取付けは専門知識と技術が必要です。熟練したメカニックのいる指定整備工場などで行ってください。ネット通販などで購入し、素人が取付けを行った場合、取付け不良が原因の不具合については保証の対象外となります。
- ご使用前に必ず光軸の調整を行ってください。対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 取付け作業中または使用中に少しでも異常を感じたら、ご購入の販売店または当社サービス課までお問い合わせください。

車検適合の記載について

- 本製品は車検対応品として販売しておりますが、ハイビーム検査時の最高光度と色温度についてです。
※プロテックにて適合の出ている車両に取り付けた際、車検合格基準に満たない事があります。
※プロジェクター式ヘッドライトの場合、ライト側の構造上の問題(反射板や焦点距離)で見た目にも明るくても、最高光度の測定値が基準値以下で検出される場合がございます。予めご了承ください。
- 製品の取付け後は必ず、LED(新光源)に対応した検査機にて光軸調整を行ってください。
- 光軸調整不良や経年劣化によるライトレンズの汚れや曇り、擦り傷、灯体内リフレクター部メッキの剥がれ、純正以外のヘッドライトに使用した事による車検落ち、整備不良について当社は一切の責任は負いません。
- 左右方向への光軸調整が出来ない車種へ取り付けた場合、正しく光軸調整が出来ずに不合格となります。

製品の主な特長・仕様

- **車検対応!**
本製品は車検対応品です。車検適合基準の光度15,000カンデラに対して十分上回る高度を有しております。
添付の日本車両検査協会発行の成績書にKawasaki Ninja1000の灯体で測定した最高光度が記載されております。
- **長寿命!**
ノーマルのハロゲンバルブはもちろん、H.I.D.より更に長寿命です。
- **省電力設計!**
消費電力は20wですので、一般的なH7ハロゲンバルブ(12v 55w)より省電力です。
- **信頼のCREE社製LED採用!**
発光体には耐久性、信頼性の高いCREE社製XLamp XP-L LEDsを使用しています。
- **Hiビーム/Loビーム対応!**
Hiビーム、Loビームそれぞれに取り付けが可能です。**※プロテックホームページの適合情報で最新の適合をご確認ください。**
- **取付け簡単!**
ヘッドライトバルブのカプラー差し替えて配線が簡単です。**※車種によって車両側のカプラー形状が異なる場合があります。**
- **いきなり明るい素早い点灯!**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。またHIDのように徐々に発光色が変化する事はありません。
- **防水冷却ファン採用! 安心の冷却システムで常に明るい!**
LEDで発生する熱をロスなくヒートシンクに伝えて防水電動ファンで冷却する事で長時間連続点灯しても熱の影響を受ける事無く20wのフルパワーで明るい光が持続します。
- **入力電圧変化による光量変化がほとんどない!**
本製品は、入力電圧が1v下がっても光度がほとんど落ちない設計となっております。当社測定において
入力電圧10v時の高度は12v入力時と比べて2.5%ダウンと僅かなので、電圧が低くなった旧車でも車検に合格する事が可能です。

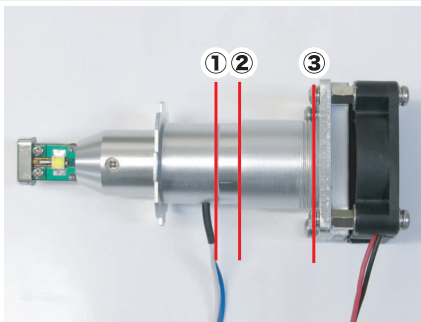
仕様

- 定格電圧…DC12V
- 消費電力…20W
- 色温度…3000k
- 使用LED…CREE社製 XLamp XP-L LEDs
- 発光部のメーカー型式…LB7-KN

構成部品

- H7 LEDバルブ本体(ファン、ヒートシンク付き) × 1
- コントローラーユニット DOW3051 × 1
- H7アダプター(ゴム製) × 1
- 導熱グリス × 1
- 両面テープ × 1
- 車両検査協会成績書 × 1

※重要 LEDバルブの組み付け時の導熱グリスの塗布について



本製品は効率の良い熱伝導効果を得る為に、工場より出荷時に左の画像の①～③で示したLEDバルブの各パーツの接合部に、導熱グリスが塗布されております。

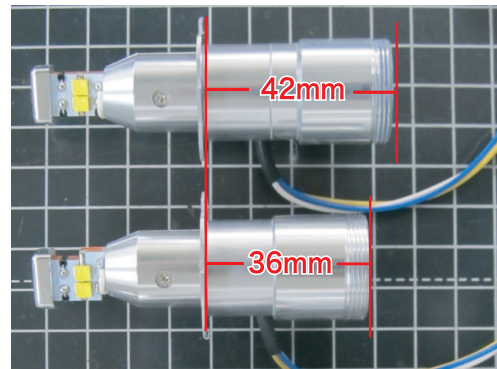
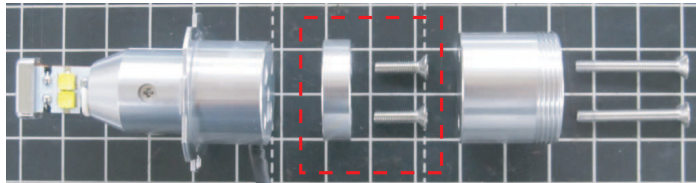
取付け時に導熱グリスを拭き取ってしまった場合は、必ず付属の導熱グリスを塗布してください。

※導熱グリスが塗られていない状態での点灯は非常に危険です。

LEDバルブの長さ調節

LEDバルブ後部は画像の様に分解して長さを調整する事が可能です。
点線で囲った中央のスペーサーと皿ネジを抜く事で6mm短く出来ます。
取り付ける車種に応じて調整してください。

※皿ネジは確実に絞め付けてください。緩みは故障の原因となります！
取付け前には皿ネジの緩みがないかを必ずご確認ください。

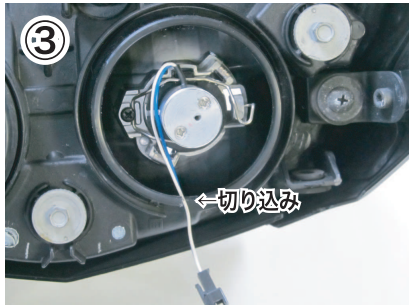


LEDバルブの取付け方法

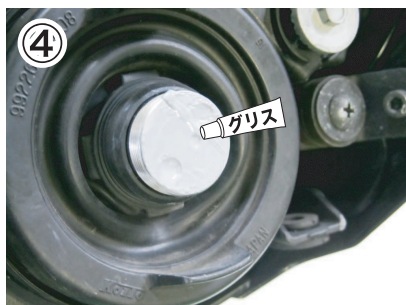
- ① LEDバルブから電動ファンユニットを外します。
反時計回りに回転させれば外れます。
- ② 車種により必要に応じてH7アダプターを取り付けます。



- ③ ノーマルバルブを外し、UPの刻印を上にしてLEDバルブを取り付けます。
LEDバルブの配線は押し潰されると加熱して危険です。バルブ固定金具で押し潰さないでください。
下の画像の様にヘッドライトボディに切り込みを入れて配線を下方方向に出してください。



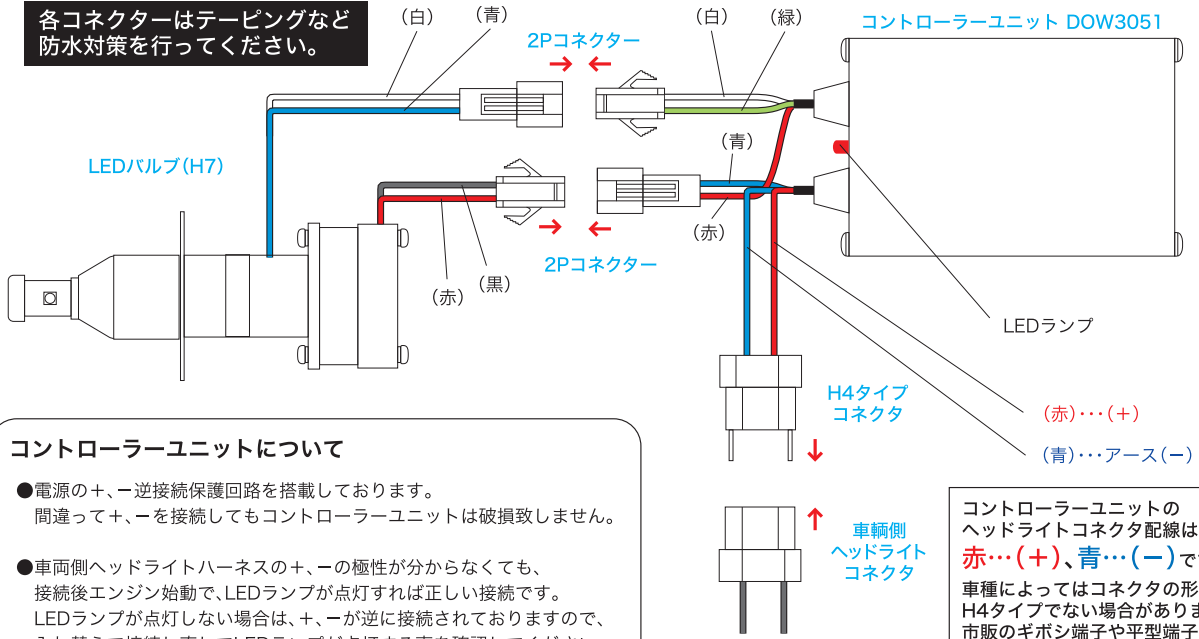
- ④ ゴムキャップを取付けます。
LEDバルブ後部には導熱グリスを塗ってください。
※LEDバルブの配線を押し潰さないでください。
- ⑤ ①と逆の手順で電動ファンユニットをLEDバルブに取り付けます。
右回りで約3回転程、密着するまで確実に締め込みます。
組み付けネジ部は細目ですので破損には十分注意してください。



- ⑥ 下記の配線図に従って各ケーブルを接続してください。コントローラーユニットは風通しの良い場所に貼り付けてください。
配線は結束バンドなどで確実に固定してください。
※ハンドルを左右に切った時にコード類が引っ張られたり、たるみすぎない様配線してください。

配線図

各コネクタはテーピングなど防水対策を行ってください。



コントローラーユニットについて

- 電源の+、-逆接続保護回路を搭載しております。
間違っても+、-を接続してもコントローラーユニットは破損致しません。
- 車両側ヘッドライトハーネスの+、-の極性が分からなくても、
接続後エンジン始動で、LEDランプが点灯すれば正しい接続です。
LEDランプが点灯しない場合は、+、-が逆に接続されておりますので、
入れ替えて接続し直してLEDランプが点灯する事を確認してください。

コントローラーユニットの
ヘッドライトコネクタ配線は
赤・・・(+)、**青・・・(-)**です。
車種によってはコネクタの形状が
H4タイプでない場合があります。
市販のギボシ端子や平型端子など
に変更して接続してください。